

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス シュウエール			
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～	令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～	令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	元気に明るい雰囲気、自分の好きなことややりたいことを発見して、それを伸ばしていくことができる。	自分が好きでやりたいことを発見して、それを続けることによって、自信が付き、自分の生活の中でのやりがいを感じることが出来るようになり、自尊感情が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描いて、時には、部屋に掲示をします。 ・歴史などの興味があることをパソコンなどを使い、徹底的に調べ、歴史に対する興味を深めています。 ・体育館や公園で、球技や大縄跳びや追いかけっこ等をして、体力をつけます。 ・おやつ作りをして、皆でそれを食べます。
2	小学校1年生から高校3年生が、ゲームや遊びや運動や学習を通して関わり合い、コミュニケーション能力を高める。	縦割り社会の中で、子ども同士で教えられたり、教えたりする環境を作り、上級生が下級生の面倒をみながらお互いを尊重し合い、お互いに関わり合いながら人間関係を学んでいくことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・カードゲームやボードゲーム等をして集団で遊んだり、体育館や公園でチームに分かれてサッカーや三角ベース野球や追いかけっこや卓球をやったりして人間関係を学んでいきます。 ・学習面で子ども同士が教え合っています。
3	1年先、2年先という短期間の未来を考えるのではなく、10年先、20年先を考えて、自分自身の将来の像を考え目標に向かって、努力をすることができる。	常に先のことを考えるようにアドバイスをして、自分の目標とすることを設定させ、その目標に向かって自主的に努力ができるような環境を作っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・上級生の子の話を聞いたりして、将来どんなことがやりたいのか考える機会を多くする。 ・自分の将来つきたい仕事ややりたいことをパソコンや本で調べたりして、就業意識を高めていく。近くの図書館に行ったりして、調べたり、本を読んだりする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の考え方で、職員一人一人の考え方のずれが出てしまい、意見の違いによって、空回りしてしまうことがある。	教育関係、福祉関係、心理関係とそれぞれ経験した職場が違う職員の集団なので、それぞれの職員の価値観の違いが出てしまうことがあるため。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見の違いによって、話し合いがまとまらない時は、よく話し合いをして、着地点をどこにするか、落としどころはどこにするかを考える。
2			
3			